

年頭のごあいさつ



美浦村長

中島

栄

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、新しい年をご健勝にてお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

本年も皆さまのご期待に応えられるよう「人と自然が輝くまち 美浦」の村政運営の先頭に立ち、執行部と村議会の総合力を生かし、長い歴史が育んできた美浦村の文化を守りながら、皆さまと共に歩んでまいりたいと存じます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、国民の行動制限も撤廃され、国内の経済も活性化の兆しが見えてきました。しかし、コロナ感染は未だ終息したわけではなく、更には、インフルエンザの流行も懸念される状況下であります。本村では、「みほ産業文化フェスティバル」をはじめとした各種イベントが、コロナ禍前と同程度の

規模で開催することができ、改めて、人と人との交流の大切さ、笑顔で集えることの素晴らしさを痛感することができました。

また近年増加傾向にある自然災害は、世界・日本各地に大きな爪痕を残しました。台風、噴火、地震、積雪等の災害がいつ起こるか推定するのは非常に困難です。村では、想定外の有事にも「備えあれば憂いなし」、予防・防災訓練等を住民の皆さまが参加・体験できる形で実施してまいります。皆さまにおかれましても防災意識を高く持ち、いざという時に速やかに行動できるよう日頃からの備えをお願いいたします。

全国の町村では少子高齢化が進み、深刻な状況が続いています。しかし、先人たちが守ってきた伝統文化の継承や自然環境の保全は、私たちが担っていかねばなりません。魅力ある地域社会を継続していくためには、住民と行政が手を携え、主体的・自立的に施策を展開していくことが不可欠であり、それが基礎自治体たる美浦村の発展につながります。また国道125号バイパスの4車線化が進み地域交流館みほふれ愛ブラザ周辺への新たな事業の展開も見られます。

今後も「地域主権」の確立に向けて村民の皆さま自らが村づくりに参加され、「自分たちの村は、自分たちで創り守る」を念頭に、ともに発展していくよう、協働のまちづくりを推進してまいります。

結びに、村政へのご支援、ご協力を心よりお願い申し上げますと共に、皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

令和六年 新春